

つげ山 (禪山) <935, 1M>を滑る

H27、2、11<日> 晴れ

2, 3日前から吹雪状態が続き天候が危惧されたが、たか子Lの念力パワーが青空が見え始め、日差しを追うように目的地を目指す。



6 ; 30 伊達道の駅

9 ; 00 春香山登山口。登山口の小屋は半分ほど雪に埋もれている。

9 ; 15 登山開始。しばらくは林道歩き。他のスノーシューとスキーのグループのトレースがまっすぐに続いている。雪は新雪で良好。

高架線を2つ過ぎ、渡渉地点にかかる。雪量は十分なようで安心して渡る。登るにつれ、樹木の様相が変わってくる。大きなエゾ松、トド松が枝にたっぷり雪をまとい、雪の造形美を見せてくれる。時折、風が吹き枝にふり積もった雪が、ハラハラと舞い落ちる。

10 ; 05 730Mポイント。

一旦10M位一気に降り、シール滑走後かなりの急登となる。

ジグをきりながら、先日の講習会で習った抜き上げキックターンを駆使しながら登る。その後ピークまでは緩やかな登りになる。

12 ; 00 ピーク着。風が少し吹き始めたので早々に降りる。

12 ; 10 下山。

12 ; 50 テントレストラン。



13 ; 45 出発。いよいよスキー滑走だー。と突然横から、バリッ、バリッ、バリッ。オッ。見るとたか子Lが果敢に木をなぎ倒し突進するや、雪中に埋没している。出てきて本人曰く、<行けると思ったんだー>と可愛らしくニカッ。いいですねえ。こういうの。その後は何事もなく、雪面にそれぞれのスキーラインを描きながら滑りおりた。

14 ; 10 登山口着。

今日も山スキーは最高でした。自然を身体いっぱい堪能し、充足感の1日でした。

CL ; 藤木たか子

参加者 ; 藤木、永宮、山下、谷

H27、2、13 記録係り 谷 郁子